



## リスク感性を磨く

伊丹市立総合教育センター  
所長 太田 洋子

5月中旬頃から日本大学アメリカンフットボール部の反則タックルが大きな社会問題となりました。私自身、報道等を通して危機管理の面から感じたことを述べてみたいと思います。

今回の日大の対応では、初期対応の甘さが最初に指摘されました。日大の選手のラフ・プレーに関しては、試合中に選手の退場はありましたが、そのときにはこれほど大きな問題になるということは双方のチームの監督ですら予想していなかったと思います。しかし、今はネット社会です。このプレーが瞬く間に動画サイトに掲載され、その後、警察に被害届が出されるなど日本中を騒がす大きな事態となりました。



大学といえども、国から多くの補助金を交付された教育機関です。しかも、社会に出て一人前の大人になるための最終的な教育機関です。そういう場において最初に配慮されるべきは被害そして加害の双方の学生であり、自己保身や大学の体面では無いはず。しかし、実際はどうだったのでしょうか？また、部の活動が本来の目的を逸脱し、「勝利至上主義」になっていたのではないのでしょうか？

各地の学校では、日々、様々な事件が起こります。新聞報道等で目にしますが、「いじめ」を起因とする不幸な事案は後を絶ちません。危機に直面したとき、関係者からの聞き取り等の詳細な調査をしていない段階で、いきなり結論を決めつけて対処すると、あとで取り返しのつかない事態に陥ることもあります。

平成23年、大津市において「いじめ」を原因とした中学生の自殺事件が社会問題となりました。この事件について、今津孝次郎は、その著書『学校と暴力（平凡社新書）』において、「多くの兆候を知っていたのにそれらに真正面から対応できず、市長や警察の介入を招いてしまった学校と市教委の危機管理体制の弱さが全国の注目を浴び、この事件をきっかけに「いじめ防止対策推進法」が成立しただけでなく、教育委員会制度の見直しにまで飛び火してしまった」と述べています。

危機における初期対応が不適切であれば、対応に多くの時間が必要になり、さらなる危機に繋がることもあります。そして、それまで築いてきた「信頼」が一瞬にして崩れてしまうのです。民間企業の場合は、会社の存続につながることもあります。一度失った「信頼」は取り戻すのに、長い年月が必要になるものです。

危機が起こった際によく「想定外だった」ということばが出てきます。学校関係者として、今回のような報道があったときに、「他者のこと（他人事）」と安易に流さず、「自分だったらどうするか（自分事）」として考えておくことが、想定外の危機に気づく感性（リスク感性）を磨くことに繋がります。「何かおかしいぞ」というちょっとした気づきを逃さず、日々対処していくことが、危機（リスク）の最大の防御法ではないでしょうか。

# 特別の教科 道徳の評価

**重要**

評価の視点



道徳科の評価は、他の児童生徒との比較による評価や、目標への到達度をはかる評価ではなく、**大括りなまとまりの中で、一人ひとりの児童生徒がいかに成長したか**を受けとめて認め、励ます**「個人内評価」**として**記述式で行う**ものです。

児童生徒の道徳性そのものを評価の対象とするものではありません。**道徳科の目標に基づく学習活動に着目した児童生徒の成長の様子**を適切に把握し、評価するものです。

**学習活動**

**道徳的価値**

- ①自己を見つめることができたか。
- ②物事を多面的・多角的に考えることができたか。
- ③自己の生き方について考えを深めることができたか。

**評価の材料**

学習の成果を**具体的な姿で表したもの**  
 (ノート、ワークシート、感想文、スピーチ等に加え、毎時間の授業観察や児童生徒の発言、エピソードの記録など)

## 評価手順フローチャート

### ①学校全体での共通理解

- ① 評価の対象  
学習活動に着目した児童生徒の成長の様子
- ② 評価の視点  
ねらいとする道徳的価値
- ③ 留意点  
評価基準に基づく評価は行わない
- ④ 評価の材料  
学習の成果を**具体的に表したもの**

### ②授業【考え、議論する道徳】

- 明確な意図を持って指導計画を立てる。
- 指導の手立ては**授業のめあて**に則したものか。
- 発問は指導の意図に基づいた的確なものか。
- 教材や教具の活用は適切なものか。
- 児童生徒の実態や発達の段階にふさわしいものか。
- 配慮を要する児童生徒に適切**に対応しているか。

### ⑤振り返りと活用

- 評価結果を基に、学習指導の過程や指導方法について振り返り、**授業改善に生かす**。
- 学級経営や日常の指導、個別指導にも生かす。

### ③評価【授業の前後の心の変容】

- 道徳科での**学習活動に着目して、学習状況や児童生徒の成長の様子**を適切に把握する。
- 児童生徒が自らの成長を実感し、**さらに意欲的に取り組もうとするきっかけとなる評価**を心がける。

### ④事例の蓄積と共有

- 各教師の評価結果を事例として蓄積し、学校全体で共有を図る

気をつけて!!

**NG文例**

【道徳性そのものを評価した記述】

**NG!** ~の学習を通して、人を思いやる**道徳的心情が育ってきました**。

↓

**OK!** ~の学習を通して、相手の立場を考えて見守る思いやりがあることに気づきました。

【子どもの性格等を評価した記述】

**NG!** ~の学習では〇〇を考え、**性格も前向きになってきました**。

↓

**OK!** ~の学習では、自分がその場面にいたらどのような気持ちになるのかを考え、発言するようになってきました。

【どの教科にもあてはまるような記述】

**NG!** 発言も多く積極的です。ノートも丁寧にまとめています。

↓

**OK!** 授業中は、自分がその立場ならどんな気持ちになるのかを発言することで、考えを深めるようになってきました。



# 新規採用教員訪問指導から

新規採用教員の指導力及び実践力の向上をめざし、訪問指導を5月中旬～6月下旬にかけて実施しました。若手教員の先生方、授業力向上(カリキュラム)支援センターコンサルタントからのメッセージを参考に、授業力の向上を図りましょう。

## 山田 恵子 コンサルタントより

### 学びが深まる授業をめざそう

一生懸命さが輝く若い先生方、さらなるステップアップをめざし、一步ずつ前進。児童・生徒から「わかった」と達成感あふれる一言が聞こえてくる授業をめざしましょう。

#### ○ 聞く力は育っていますか？

教師の聞く力…児童・生徒の発言をしっかりと聞き取り評価できていますか？(子どもの意見を繰り返したり、子ども以上に長く話したりしていませんか？)

子どもの聞く力…最後まで聞き取り、発表内容にうなずきや首をかきあげる等、自分の意見を持って聞き取っていますか？(発表している人を見ているだけにおわってませんか？)

#### ○ 話す力は育っていますか？

教師の話す力…発達段階にあわせた正確な日本語、正しい発音、理解できる早さを心がけていますか？(同じ調子で話し続けたり、早口やぼそぼそ声で話したりしていませんか？)

子どもの話す力…自分の考えを自分の言葉で相手に聞き取れるように話せていますか？(小さい声で教師や黒板に向かって話していませんか？)

#### ○ 姿勢は整っていますか？

教師の姿勢…「七三の構え」で、常に児童・生徒と目を合わせていますか？(一人の子や黒板に目線が集中するときはありませんか？)

子どもの姿勢…背筋は伸びていますか？書く姿勢は整っていますか？(体が常に動いたり、曲がったりしていませんか？)

## 後藤 猛虎 コンサルタントより

### わかる授業のために

授業が上達する方法はいろいろあります。今、若い先生方にしてほしいことは、たくさん自分の授業を他者に見てもらうことです。たくさんアドバイスをもらいましょう。

#### ○ 評価基準を意識しながら指導する

**評価規準**は、学習指導要領の目標や内容を受けた評価といえます。**評価基準**は、評価規準をどの程度達したかをA「十分できる」B「おおむねできる」C「努力を要する」等で評価することをいいます。評価基準は、本時の目標を個々の児童生徒がどのくらい達成したかを評価するものです。Bの子には、Aになるよう教師が指導の手立てを考え、指導しなければなりません。Cの子も同様にBやAになる手立てを考えなければなりません。**わかる授業は、A、B、C を想定して指導の手立てをしっかりと考え、指導する授業なのです。**だから評価基準は本時に必要なのです。

#### ○ ワークシートよりノートを構造化する

算数の授業で多くの先生方がワークシートを使っていました。ワークシートは、時間短縮や指導する手順・内容が示されているので便利ですが、使い方をよく吟味しましょう。ノートは式や計算、板書を写すだけでなく、学習したとがわかるノートにしましょう。そのことが学習の理解を深めるのです。ノートは自由に使えます。問題を写し、図や線、図形を書いたり、自分の考えやわけ、わかったことや振り返りを書いたりできます。**それらを上手に構造化し、わかるノートをつくるように指導しましょう。**

## 夏季研修がはじまります！



7月23日(月)から総セン夏の研修がスタートします。先生方が「今、知りたい!」と思われる研修をたくさんご用意しております。ご参加お待ちしております。  
※ 詳しくは各学校へ送付しております、研修・講座一覧表をご覧ください。

発行 伊丹市立総合教育センター  
月～金 9:00～21:00 土 9:00～17:00  
所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番地 TEL072-780-2480 FAX072-780-2482  
休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>